

単元名 声に出して楽しもう2

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。
(3) 易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとする。

標準的な展開例

03010214_001

【教材名】短歌を楽しもう (下 P.62～P.63)

【準備等】国語指導CD

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|--|
| <p>1 短歌を言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら、声に出して読む。 ★声に出してリズムよく短歌を読もう。 ○短歌について知る。</p> <p>○区切りを確認し、リズムを意識しながら短歌を繰り返し音読する。</p> <p>○短歌四首を音読する。</p> <p>○気に入った短歌を暗唱する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・短歌は「五・七・五・七・七」の三十一音で作られていることを押さえる。 ・CDや教師の範読、二次元コードの「短歌を聞いてみよう」を聞いて、区切りを確認させる。 ・知っている言葉を手がかりにして情景や作者の心情を想像し、古人が見たものや感じたことを今の私たちと比べさせる。 <p>【評】五七調の調子を楽しみ、リズムをつかんで音読する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の調子や響きを楽しみながら声に出して音読させる。 ・気に入った理由を説明させるのもよい。 <p>【評】五七調のリズムに気を付けて音読し、好きな短歌を暗唱する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> |

【 備 考 】